

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名 情報システム整備費（森林文化アカデミー）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林文化アカデミー 総務課 電話番号：0575-35-2525

E-mail：c21907@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 **9,176 千円** （前年度予算額： **13,631 千円**）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	13,631	0	0	3,000	0	0	0	0	10,631
要求額	9,176	0	0	3,000	0	0	0	0	6,176
決定額	9,176	0	0	3,000	0	0	0	0	6,176

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

森林文化アカデミーの学内情報ネットワークシステムは、授業・教育研究及び事務事業で使用している。

学生卒業後の活躍が期待される林業関連業界においても様々な局面でコンピュータを活用した仕事が行われており、本学教育においても即戦力となる技術教育を提供する必要がある。そのために安定したコンピュータネットワーク環境の構築と教育への提供は欠かせない。

(2) 事業内容

【情報システム維持管理費 4,869千円】

(1) 運用支援業務

- 本学の情報システムを安定して運用するため、ネットワーク障害発生時の障害切り分け（障害箇所の特定）等対応作業及びシステム運用にかかる提案、メンテナンスを行う。

(2) ライセンス等更新業務

- 「図書支援システム」、「事務支援システム」などの各種システム及びウィルス対策ソフト、無線AP管理ツール、GISシステム、事務支援用ソフトウェア等のサポート業務を行う。

(3) インターネット接続費用

- インターネット接続（プロバイダー契約）
- ホスティングサービス（誤送信防止システム）

【情報システム整備費 2,639千円】

○サーバー等機器使用料 (R4.6.1~R9.5.31 長期継続契約)

【情報機器等更新事業費 1,668千円】

○本学の教員用パソコン等の更新費用

(3) 県負担・補助率の考え方

森林文化アカデミー運営にかかわることのため、県において全額負担することが妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
消耗品費	15	OSグレードアップ用消耗品の購入
修繕料	52	保守対象外端末機器等修繕料
委託料	4,511	運用支援業務委託費
使用料及び賃借料	2,930	サーバー、スイッチングハブ、プリンター、端末機器等リース費用 ArcGISアカデミックパックライセンス料
備品購入費	1,668	教員用PC等の更新費用
合計	9,176	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

施設整備として、今後も必要な維持管理をしていく。

(2) 事業主体及びその妥当性

森林文化アカデミー運営にて必要であるため県において整備が必要。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・一般社会で運用されていると同程度の性能や安定性と、セキュリティ対策を十全に講じた学内ネットワークを維持管理する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標	
					(R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

・ネットワーク維持管理を目的とした事業のため、その効果を適切に評価できる指標が存在しない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 4 年度	ネットワークを適正に維持管理し、事務的業務や教育に支障が生じることはなかった。
令和 5 年度	ネットワークを適正に維持管理し、事務的業務や教育に支障が生じることはなかった。 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和 6 年度	ネットワークを適正に維持管理し、事務的業務や教育に支障が生じることはなかった。 指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない	
(評価) 3	・教育機関として、学内情報ネットワークは必要
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	授業に利用するとともに、学内外の情報収集、学生への連絡手段等に利用している。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている	
(評価) 1	ネットワーク機器更新時には、より効率的なネットワークを検討し、適切に機器更新している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 学校開設時(H13年度)に敷設した有線ネットワークのため、拡張や変更が困難。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後も必要な設備であるため、適正な維持管理に努める。
--